

【北海道】北海道の出版社等11社が集まり今年6月、一般社団法人北海道デジタル出版推進協会（略称HOPPAA）が設立された。道内の印刷物・出版物をデジタルコンテンツとして流通させるのが狙い。代表理事に就任した林下英二氏（中西出版社社長）に話を聞いた。

— 設立の経緯は。  
 かけ。道内出版社15社をはじめとして20社を超える出版中央図書館が実施した「電子図書館実証実験」がきっかけ。400人のモニ



出版総合

北海道デジタル出版推進協会 林下英二代表理事に聞く

ターから意見を求めました。地元から出版物から地元作の別刷『bBB』でも、アきたいです。た。地元の本をもっと知り、家の作品、北海道の自然・メリカでは電子書籍化した。7月に開かれた東京国際たいという要望が多く、そ、歴史・文化を記録した資料、方が紙の本も売れたという。7月に開かれた東京国際や写真集などを電子化する記事がありましたよ。ハブックフェアでもよく聞かれました。次に、それを図書館、イブリッドの同時発売がこれだ「ディスプレイ」がキーワードだと思社に限りず、コンテンツを制作しているところには入会のアプローチをしています。

図書館の電子実験を機に発足  
 まず「地産地消」で展開

刷・出版物を電子化して流通等の総合窓口をHOPPAA — 採算性は。現状は厳しいですが、今は必要点です。同時発売の相乗効果は、紙の本の見つけやすさに起因していると思北海道上野出版会  
 院特任教授の小磯修二氏も理事として参加。

紙面ごとのお問い合わせはメール hensyu@bunkanews.co.jp まで

印刷業も経営しているから思いますが、www.hoppa.or.jp/